

箱わなによる捕獲のすすめ（イノシシ編）

～効率的で被害軽減につながる捕獲に向けて～

2021年3月版



熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課

はじめに

本県では、集落や田畑で無意識に行われてしまっている「えづけ」や耕作放棄地等野生鳥獣の「ひそみ場」となる環境を地域ぐるみで改善していく「えづけSTOP！対策」を基本として、「野生鳥獣が生息しにくい環境整備と管理」「農地への侵入・被害防止」「有害鳥獣の捕獲」「ジビエ利活用の推進」を組み合わせた総合的な鳥獣被害対策を推進しています。

特に本県の鳥獣被害の約5割を占めるイノシシについては、県内で最も捕獲されている一方で、捕まえやすい幼獣だけを捕獲する、箱わなを農地周辺に設置したことでイノシシを農地に誘導し被害を助長してしまっているなど、被害防止効果の低い捕獲や誤ったわなの設置も行われている状況となっています。

このため、県では、「熊本県えづけSTOP！対策ソリューションアドバイザー」である稲葉達也氏監修の下、効果的で被害軽減につながる箱わなを用いた捕獲を行うための手引きを制作しました。

本書が各地域における鳥獣被害防止対策の一助となるよう積極的に御活用くださるようお願い申し上げます。

目次

| | |
|----------------------|---------|
| 1. 箱わなによる捕獲 | P.3～P.4 |
| 2. 箱わな規格仕様について | P.5 |
| 3. 箱わなを設置する際の留意点 | P.6 |
| 4. 効率的・効果的に捕獲できるポイント | P.7～P.8 |
| 5. ICTを活用した箱わな捕獲 | P.9 |
| 6. 捕獲した際の対処方法 | P.10 |
| 7. お問い合わせ | P.11 |
| 8. 付録 | P.12 |
| 注意事項 | P.13 |

1. 箱わなによる捕獲

箱わなとは、箱型の檻の内側に撒き餌を置いて野生動物をおびき寄せ、わなのトリガーを踏んだり押したりすることで、入口の扉が閉まる仕組みのわなです。突進力があるイノシシ用の箱わなは、丈夫な鉄製のものを使用しましょう。

箱わなのメリット

・多頭捕獲が可能



箱わなは、一度に2～8頭程度の多頭捕獲が可能です。

特に幼獣だけでなく、成獣のイノシシも一度に捕まえることで増加を抑制する効果が期待できます。

・安全性が高い

箱わなによる捕獲は「守りの捕獲」とも呼ばれており、出猟する必要がないことから、険しい山道を走る「銃での狩猟」に比べ、捕獲者にとっては怪我などのリスクが低くなります。

また、足首をワイヤーで捕まえる「くくりわな」に比べても、イノシシとの接触事故が起こりにくく、初心者でも比較的 safely に利用しやすいわなと言えます。

箱わなのデメリット

・捕獲できないと逆に増やすことに繋がる

箱わなを設置した後に捕獲できない状態が続くと、箱わなに仕掛けた撒き餌によってイノシシに餌をあたえているだけの状態になってしまいます。その結果、イノシシの栄養状態を改善することになり、1回の出産で多くの子どもを産んでしまう等、結果的にイノシシを増やしてしまう恐れがあります。

箱わなを設置する場合は、確実に捕獲できるように設置しましょう。

・見回りが大変

複数基の箱わなを設置した場合、維持管理するための見回りに多くの時間が必要となります。

設置をする場合には、見回りの負担についても十分に考慮しましょう。

2. 箱わな規格仕様について

| 項目 | 仕様 |
|-----|---|
| 規格 | 高さ×幅×奥行：1,000×1,000×2,000 (mm) ※扉を開けた時の高さは最大2,000mm |
| 材質 | 直径5mm以上の鉄材 |
| 扉 | 片開き方式を使用し、形状は側面と同様にメッシュ状の物を用いる。 メッシュの目合いは1辺を100mm程度とする。 |
| 仕掛け | 簡単に作動するトリガーを使用すると、多頭捕獲につながらないため、強度の調節が可能な「蹴り糸方式」のトリガーを活用し、捕獲個体に合わせて、トリガーの硬さを調整する。 |



箱わなの規格（高さ、幅）



箱わなの規格（奥行）



箱わなの規格（扉を開けた時の高さ）



実際の扉（格子の目：1辺100mm）



箱わなの底面



蹴り糸方式

3. 箱わなを制作する際の留意点

・箱わなの扉に鉄板を使わない



↑扉に鉄板を使った箱わな

箱わなの扉が鉄板で作られている場合、先が見えないことで警戒し、近づこうとしなくなります。

扉が鉄板で作られた箱わなは捕獲率が著しく低下しますので、側面と同じ鉄柵を用いましょう。

※扉が鉄板でつくられた箱わなでイノシシを捕獲した際、イノシシは扉の鉄板に衝突しようとはしません。言い換えるとイノシシは人工物を認識していると言えます。

・餌を守るための雨除け板を置かない



↑天面に雨避けを使った箱わな

米ヌカなどの撒き餌が雨で痛まないように天面に板を置いてあると、上記同様イノシシが警戒してしまい、捕獲率が低下します。

雨除け板は置かずに、こまめに餌の管理をしましょう。

・箱わなの標識を掲示する



箱わなを設置するにはわな猟の狩猟免許が必要です。箱わなには、「標識」を掲示する必要がありますので、忘れないようにしましょう。

[標識の記載事項]

- ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④許可者名
- ⑤登録年度 ⑥登録番号

4. 効率的・効果的に捕獲できるポイント (えづけSTOP!対策と一緒に)

・箱わな周辺の餌を除去する



箱わなの周辺に農作物の残さや餌となるものがあると、イノシシは箱わなの中の餌を食べようとしなくなってしまいます。

えづけSTOP!対策を実践して箱わなの周辺には餌となるものを除去し、イノシシが箱わなに入りやすい環境を整えましょう。

・箱わなの底面を土で覆い、しっかり固定する



↑入り口の段差をなくした箱わな

イノシシは蹄にもものが挟まることを嫌いますので、箱わなの底面が見えないよう、土で覆い固定しましょう。

また、箱わなの入り口と地面の段差もできるだけなくしましょう。

・組み立て式の箱わなににする



↑実際に組み立てているところ

箱わなは、組み立て式のものとは既に組み立てられたものがあります。

箱わなは、決まった場所に設置するのではなく、捕獲の状況に合わせて場所を移動させる必要がありますので、容易に移動できる組み立て式のものを選びましょう。

・見通しの悪い場所に設置する



イノシシはとても臆病な生き物なので、すぐに逃げたり隠れられる茂みの多い場所に箱わなを設置しましょう。

・田畑や道路から離れて設置する

箱わなを被害が発生した田畑の近くに設置すると、箱わなの中の撒き餌によって、かえってイノシシを引き寄せてしまうことがあります。

また、道路の近くに箱わなを設置することで、車との衝突事故に繋がる恐れもあります。箱わなを設置する際は、田畑や道路から離れた場所に設置しましょう。

・わなの扉を山側に設置する

ほとんどのイノシシは山から里に下りてくるため、扉を里側に向けて設置すると捕獲率が落ちてしまいます。

イノシシが少しでも安心して箱わなに入れるよう、扉は山の方に向けて設置しましょう。

5. ICTを活用した箱わな捕獲

捕獲活動にICTを活用することで、これまでできなかったイノシシの行動観察や、わなの見回りの負担の軽減が可能です。

・「Webカメラ」で箱わな捕獲の様子を観察する



箱わな周辺にインターネット通信機能を持った「Webカメラ」を設置することで、箱わなに近寄ってきたイノシシの様子を離れた場所から観察することができます。

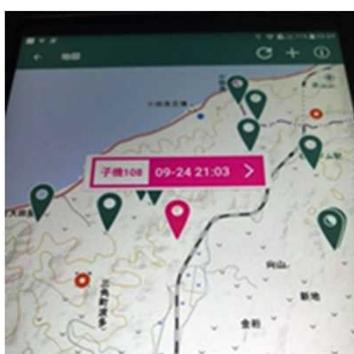
また、箱わなに近寄ってきた様子をスマートフォンやメールに写真で通知することも可能です。

箱わなでの捕獲に不慣れな初心者や、見回りが困難な高齢者におすすめです。

・わな発信器で捕獲を把握する

イノシシが箱わなにかかったことを通知してくれる通信機を活用することで、多数の箱わなを管理しやすくなり、毎日見回りをしなくてもイノシシが罠にかかったことを把握することが可能です。

・SNSを活用する



スマートフォンでSNSを利用し、写真や地図などの位置を地域やグループで情報共有することで、連携した対策に取り組むことが可能となります。

6. 捕獲した際の対処方法

止め刺しについて

箱わなで捕まえただけではイノシシを減らすことはできません。捕獲されたイノシシは、人間に向かってくる性質があります。そのため、不用意に箱わなに近づかず、イノシシの興奮状態や、捕獲場所の環境などを確認し、最適な処置を選択してください。また、止め刺しおよび捕獲個体の処理は、関係法令及び有害鳥獣捕獲許可の内容と許可条件に基づいて適切に行ってください。

[止め刺しの種類]



- ・銃器を使用する方法
- ・ナイフや槍といった刃物を使用する方法
- ・電流で感電させる方法
- ・炭酸ガスなどを用いた化学的な方法

※特定猟具（銃）使用禁止区域内での狩猟捕獲においては、止め刺しであっても銃は使用できません。

7. お問い合わせ

【 編 集 】 熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課

【 所 在 地 】 〒862-8570

熊本県熊本市中央区水前寺 6 丁目18番1号

【 T E L 】 096-333-2378

【むらづくり課HP】 <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/88/>

【 発 行 】 2021年3月

監修



稲葉達也（いなばたつや）

熊本県えづけSTOP！対策ソリューションアドバイザー、鳥獣管理士、猟友会向け安全指導講師、農林水産省野生動物対策専門家、森林インストラクター、猟友会安全講習講師、くまもと☆農家ハンターのプロジェクトリーダーとしてこれまで100基以上の箱わなの設置及び指導を行った経験を持つ。

8. 付録

箱わなを設置する際に下記のリストを活用し、捕獲率の高い箱わなの設置を心掛けましょう。

| 項目 | チェック欄 |
|-------------------|--------------------------|
| 扉に鉄板等が使われていないか | <input type="checkbox"/> |
| 雨除板を天面に設置していないか | <input type="checkbox"/> |
| わなには十分な強度があるか | <input type="checkbox"/> |
| 箱わなの周辺に餌がないか | <input type="checkbox"/> |
| 見通しの悪い場所に設置しているか | <input type="checkbox"/> |
| わなの扉は山側を向いているか | <input type="checkbox"/> |
| 田畑や道路のそばに設置していないか | <input type="checkbox"/> |
| 箱わなの標識を掲示しているか | <input type="checkbox"/> |

注意事項

- ・本資料は、イノシシを捕獲するために箱わなを活用する際の参考として示したものです。
- ・箱わなの設置にあたっては、狩猟免許（わな猟）が必要です。強度や安全面に注意し、関係する法令に従ってください。
- ・本資料によって生じた直接、間接の損害については、熊本県および監修者はその責任を負いかねますので御了承ください。
- ・無断転載は禁止ですので、御注意ください。